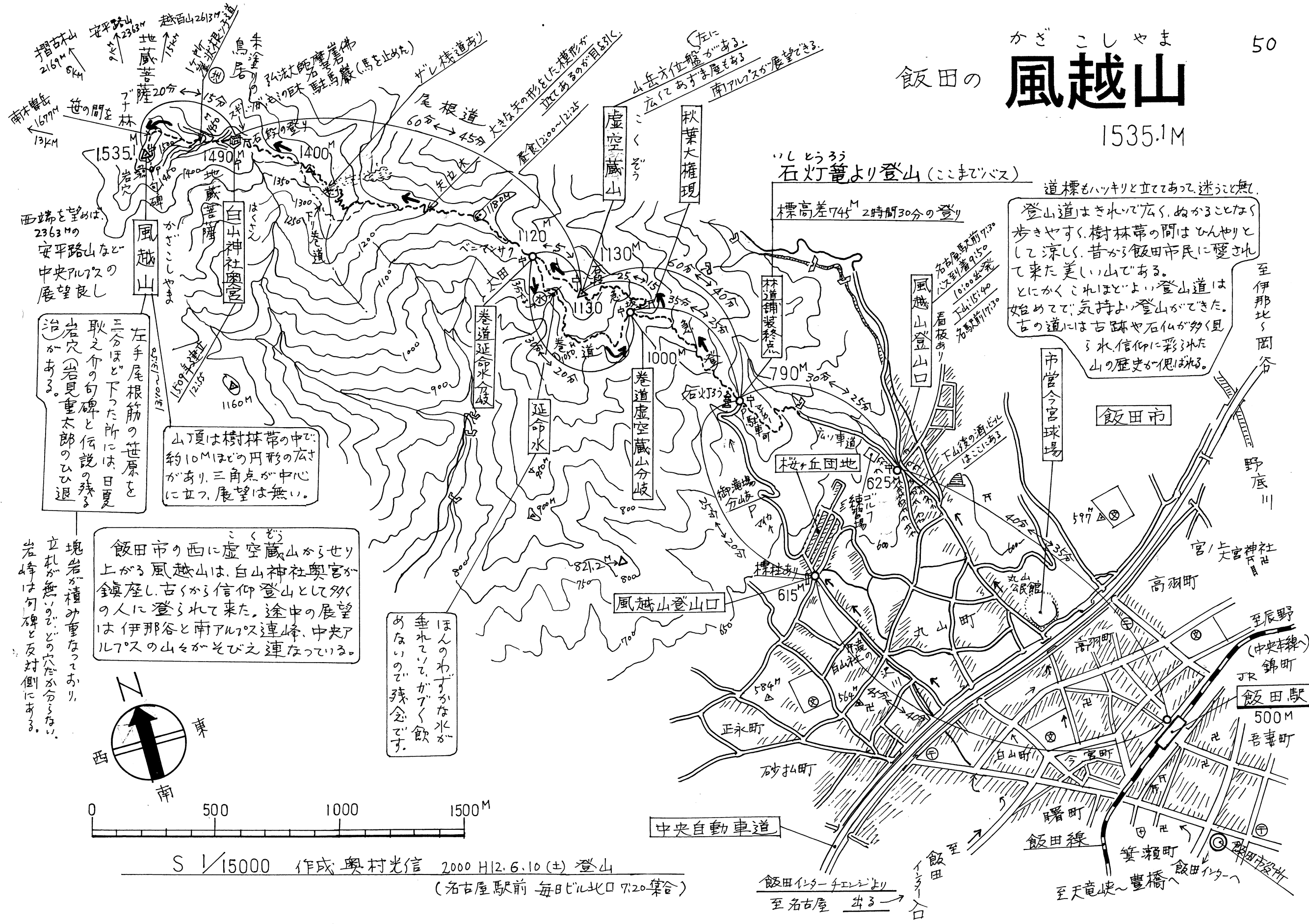


飯田の 風越山

1535.1M



登山道はきれいで広く、ぬかることなく歩きやすく、樹林帯の間はひんやりとして涼しい。昔から飯田市民に愛されて来た美しい山である。
とにかくこれほどよい登山道は始めて、気持ちよく登山ができた。古の道には古跡や石仏が多く見られ、水・信仰に彩られた山の歴史が偲ばれる。

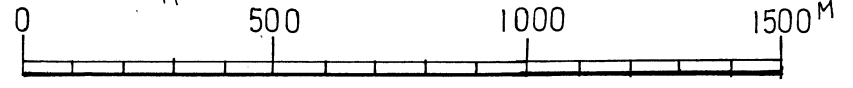
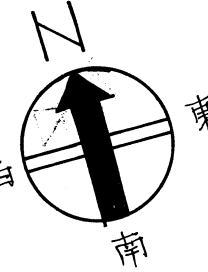
山頂は樹林帯の中で、約10Mほどの円形の広がりがあり、三角点を中心になつて、展望は無い。

飯田市の西に虚空蔵山からせり上がる風越山は、白山神社奥宮が鎮座し、古くから信仰登山として多くの人に登られて来た。途中の展望は伊那谷と南アルプス連峰、中央アルプスの山々がそびえ連なっている。

ほんのわずかな水が垂れていて、がぶく飲めないのが残念です。

左手尾根筋の笹原を三分ほど下った所には、日夏耿之介の句碑と伝説の残る岩穴(岩見重太郎のひび退治)がある。

塊岩が積み重なっており、立れが無いため、どの穴から分らない。岩峰は句碑と反対側にある。



S 1/15000 作成 奥村光信 2000 H12.6.10(土) 登山
(名古屋駅前 毎日ビル北口 7:20 集合)

飯田インターチェンジより
至名古屋 出る

至天竜峡・豊橋へ